

英語力診断テスト(新1年生)

入学時点での英語習熟度を国際的な基準で測定し、CALL科目の成績評価で用いるため、下記要領により英語力診断テスト(TOEFL ITP)を実施します。

対象：2024年度入学の学部1年生(全員受験必須)

場所：伊都キャンパス センター2号館

※4月6日の試験は自宅等で自身のPCを利用するWeb試験の形式で実施します。

日程

4月 6日(土)午後	共創学部・文学部(国際コース)	試験 14:00~16:30 【注意事項】※8を参照
4月13日(土)午前	文学部(国際コースを除く)・教育学部・ 法学部・経済学部	入室 8:40~ 9:20 試験 9:30~12:40
4月13日(土)午後	工学部	入室 13:40~14:20 試験 14:30~17:40
4月14日(日)午前	理学部・農学部	入室 8:40~ 9:20 試験 9:30~12:40
4月14日(日)午後	医学部・歯学部・薬学部・芸術工学部	入室 13:40~14:20 試験 14:30~17:40

※指定日以外の受験はできませんので必ず定められた日程で受験してください。

【注意事項】

※1 「学術英語・CALL1」および「学術英語・CALL2」の単位取得のためには、入学時と2年進級時の2回の英語力診断テストを受験することを必須要件としますので、必ず2回とも受験してください。

※2 共創学部及び文学部国際コースは、本テストの点数で、入学後履修する「英語インテンシブ科目」のクラス分けをします。また、入学時と2年進級時の2回とも必ず受験してください。

※3 このテストの点数は教育の質向上・学習のサポート等を目的とした研究に利用することがあります。データは厳密に管理し、受験者に不利益が生じないようにします。

※4 試験当日は公共交通機関が土日ダイヤとなるため、時間帯をよく確認してください。

※5 試験当日は、学生証・鉛筆(シャープペンシル)・消しゴム・腕時計を忘れずに用意してください。

※6 試験室はセンター2号館の3階・4階の講義室を使用します。試験室の割振り等については、試験当日にセンター2号館の数ヶ所に掲示しますので、そちらで確認してください。早めに入室し、入室時間内に指定する教室の座席に着席してください。遅刻の場合、時間によっては受験できません。また、試験中の退室は認められません。

※7 TOEFL ITPテストの概要について記載されている「Test Taker HANDBOOK」をWeb上で公開しています。事前に内容や方法を確認して、テストに備えてください。

(Test Taker HANDBOOKサイト <https://www.ets.org/content/dam/ets-org/pdfs/toefl-itp-test-taker-handbook.pdf>)

※8 **共創学部及び文学部国際コースの学生が受験するWeb試験の詳細については、別途Webサイト上でお知らせします。**下記URLに掲載される「共創学部及び文学部国際コース新入生の英語力診断テストについて」の通知を確認してください(通知は3月20日頃までにサイト内に掲載予定)。

(新入生向け各種通知Webサイト <https://x.gd/pGv0W>)

《新1年生へ重要連絡》

英語必修科目「学術英語・CALL1/2」について

「学術英語・CALL1」は1年前期に、「学術英語・CALL2」は1年後期に Web 教材で自学を中心とした学習（自律学習）を行い、Web 学習の状況、定期試験、1・2年次開始時に実施する英語力診断テスト（TOEFL ITP）の結果により、2年前期に単位認定が行われる科目です。

【1】英語力診断テストの受験について

（1年次と2年次開始時の2回の受験が必須です！！）

「学術英語・CALL1/2」の単位取得のためには、下記の2回の英語力診断テストを受験することを必須要件としますので、必ず2回とも受験してください。

- ① 英語力診断テスト(1回目)： 共創学部・文学部国際コース → 令和6年4月6日（土）
上記以外の学部 → 令和6年4月13日（土）・14日（日）
- ② 英語力診断テスト(2回目)： 令和7年4月～5月（予定）

※いずれかでも欠席した場合は、2つの科目の単位は与えられません。

※2回目のスコアが一定数値以上上昇した場合は両科目の成績に反映されます。

受験前に下記 Level1 のサンプル問題で形式に慣れると解きやすくなります。

<https://www.ets.org/toefl/itp/prepare.html>

【2】英語力診断テストの成績による「学術英語・CALL1/2」の教材学習・定期試験の免除について（申請条件）

「英語力診断テスト(1回目)」で以下の成績を取得した学生は、申請により教材学習・定期試験を免除します。

- ① 申請可能な英語力診断テスト（TOEFL ITP）の成績と免除する範囲

520以上	学術英語・CALL1（1年前期）の教材学習と定期試験を免除
570以上	学術英語・CALL1（1年前期）および学術英語・CALL2（1年後期）の教材学習と定期試験を免除

- ②申請期限及び方法

◆申請期限：令和6年6月（予定） ◆申請先：基幹教育・共創学部課基幹教育教務係

◆申請のために必要なスコアシートは、「学術英語・アカデミックイシューズ」の授業で返却される予定です。申請方法等の詳細は後日掲示でお知らせします。

- ③注意事項

※学術英語・CALL1の教材学習は4月から開始されます。そのため、免除の申請を行う場合でも申請手続きが完了するまでの期間は教材学習を進めておく必要があります。

※教材学習と定期試験が免除された場合でも「英語力診断テスト(2回目)」を受験しなければ、両科目とも不合格とします。

※2回の英語力診断テストのスコアは成績に反映されます。

※教材学習と定期試験が免除された場合でも、「英語力診断テスト（2回目）」が1回目よりスコアが一定以上下落すると、両科目の成績は合格最低線である「C」となり、また、スコアの下落が著しい場合には「F（不合格）」となることもあります。そのため、免除の申請をせずに履修した方が結果的に良い成績となる場合も考えられますので、免除を申請するかどうかについては慎重に判断して下さい（一度申請したものを期限後に撤回することはできません）。